

■文化会館(マドカホール)				0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	自己評価	来場者満足度	入場率	事業実施者	
ア 子どもたちや親子を中心とした音楽や演劇、ダンスなどさまざまな形での体験機会や鑑賞機会の提供に努めます。										2事業			
アートマルシェの開催	8月	参加者	353名	○	○			○	市民が文化芸術にふれるきっかけづくりを目的としたワークショップ。年々定着してきており、リピーターも多い。いかに内容を充実させるかが課題。	A	A	A	
アウトリーチ事業	12月	参加者	239名	○					就学前児童が所属する保育施設にアーティストを派遣し、参加体験型の演劇ワークショップを実施。子どもの豊かな発想を伸ばしていくプログラムを提供する。	S	S	—	A
イ 育成団体である「岸和田市少年少女合唱団」「岸和田市音楽団」「マドカドラマスクール」の活動を支援し、輪を広げる事業展開に努めます。										2事業			
育成団体「岸和田市少年少女合唱団」「岸和田市音楽団」「マドカドラマスクール」指導者謝礼の支出	通年	指導者数	7名		○				3つの育成団体の活動を支援し、団体の質の維持及び向上を図るため、必要な支援を継続していく。	A	—	—	A
「岸和田市少年少女合唱団」 「岸和田市音楽団」 「マドカドラマスクール」定期公演の開催	1/12(日) 11/26(日) 5/12(日)	入場者数	230名 382名 372名		○			○	育成団体の活動を発表する場を支援。各団体と連携しながら今後も継続する。	A	A	A	A
ウ 公募展である市展や地域で活動する市民や団体が参加するマドカ合唱祭の充実・発展に努めます。										2事業			
第70回岸和田市市展／受賞作品展の開催	5月～7月 11月	入場者数 出品者数 入場者数	2,477名 363名 410名		○			○	美術に関する分野(洋画・陶芸・書・日本画・写真・俳画)の公募展及び受賞作品のみを集めた作品展を開催。今回より染織部門が休止となり、6部門での開催となった。多くの作品が集まり、見ごたえのある作品展であるが、出品者の高齢化がある。 秋は受賞作品展を開催。いずれも受賞作のみの展示となり、さらに見ごたえのある展覧会となった。	A	A	B	B

■文化会館(マドカホール)				0歳 ～就 学前	小学 生以 上	妊産 婦	障害 者・高 齢者	その 他	自己評価	来場者 満足度	入場率	事業実 施者
第32回マドカ合唱祭の開催	7/28(日)	入場者数	500名		○			○	昭和63年に合唱講座から発展した事業。合唱グループや学校等の発表の場として定着している。30団体、各団のPR展示を行った。	A	A	A
エ 市民文化活動の場としての文化祭について、実行委員会の活動を支援し、事業の充実・発展に努めます。										3事業		
第71回岸和田市文化祭の開催	9月～11月	入場者数	20,011名					○	昭和24年から続いている文化祭は、市民の文化活動の成果を発表する場として定着しており、参加団体も多く、一定の成果をあげている。	A	A	A
文化の日祝典 1部式典	11/3(土・祝)		253名					○	文化、教育、スポーツ等の功労に対する表彰式典。	A	A	A
文化の日祝典 2部 「不思議大好き！イリュージョンマジック」	11/3(土・祝)		330名					○	事業協会に委託。今回は、今までと趣をかえ、マジックを選択。例年とは違う層からの申込みが多く、楽しまれた。	A	A	—
オ 障害者・児のための作品展の開催を支援します。										0事業		
カ 市内小中学校の音楽会や鑑賞事業、市内中学校におけるクラブ活動発表会などの子どもたちの文化事業の実施を支援します。										2事業		
芸術鑑賞事業の実施	通年		1校		○				例年、利用校が1団体と少なく、引き続き対象校に対し事業の周知を行った。	C	B	B
チャレンジ支援事業	通年		8件 3校		○				コンクールに挑戦する団体(主に中学校のクラブ)に対し、本番前に舞台に立つ機会を提供することで、日頃の成果を発揮してもらおう取組。活用する団体としない団体があるため、周知に努めた。	A	A	A
キ 庁内のさまざまな施策と連携し、文化活動を通じた子どもたちの健全育成や地域の魅力づくりに努めます。										0事業		

■ 文化会館(マドカホール)				0歳 ～就 学前	小学 生以 上	妊産 婦	障害 者・高 齢者	その 他	自己評価	来場者 満足度	入場率	事業実 施者	
ク 市民や文化団体等の主体的な芸術文化活動の支援、育成に努めます。										2事業			
自泉会館指定管理者(岸和田文化事業協会)への 事業委託(3件)	通年	入場者数	743 名						○ 自泉会館の活用促進事業として3事業を実施。企画を尊重しつつ、連携しながら支援していく。	A	A	A	
共催事業の実施(4件)	通年	入場者数	1,060 名						○ マドカホール・自泉会館を会場とした事業に対し、会場負担の支援。	A	A	A	
ケ ワークショップや講座の開催など文化活動の普及に努めます。										2事業			
アートマルシェの開催(第6回子どものためのアートマルシェ)		参加者	353 名	○	○				○ 市民が文化芸術にふれるきっかけづくりを目的としたワークショップ。年々定着してきており、リピーターも多い。引き続き、新規参加者の拡大を目指し、魅力あるプログラムを提供していきたい。障害児が参加できるプログラムを計画したが、講師と調整できなかった。	A	A	A	
アートマルシェの開催(第10回アートマルシェ)	中止	参加者	0 名	○	○				○	—	—	—	
コ 3館合同事業による市民参加や体験の機会を創出します。										1事業			
3館合同企画 塩田千春展「永遠の糸」 (34日間)		入場者数	8,868 名		○				○ 浪切ホール・自泉会館と合同で開催。会場スタッフは市民によるボランティア。メイン作品には市内小学生が作成したレターが参加。関連イベントを含めると、9,405名の参加があった。広域からの来場者があり、SNSでの発信による影響が大きい事業。後半は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも予定通り開催した。	A	S	A	A
			※上記は展覧会のみ的人数										
サ 国際交流を通じた青少年の異文化交流や異文化理解に努めます。										1事業			
姉妹都市米国カリフォルニア州サウスサンフランシスコ市 青少年派遣事業		派遣人数	15 名		○				○ 青少年海外交流事業として、姉妹都市である米国サウスサンフランシスコ市へ青少年を派遣した。現地での生活体験や地域の人々との交流を通じ、国際化の一翼を担う人材の育成を図っている。青少年はスピーチやパフォーマンスを通じて、日本や市の魅力の発信に努めた。	A	A	A	A